

私たちには
「戻りたい夜」が多過ぎる――。









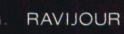
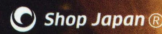
幕が下りたら 会いましょう

松井玲奈

笈美和子 しゅはまはるみ 日高七海
江野沢愛美 木口健太 大塚萌香(新人) 目次立樹
安倍乙 亀田侑樹 山中志歩 田中爽一郎
hibiki(tol -エルオーエル-) 篠原悠伸 大高洋子 里内伽奈
濱田のり子 藤田秀世 出口亜梨沙
丘みどり(友情出演) / 袴田吉彦

監督:前田聖来 | 脚本:大野大輔、前田聖来
音楽:池永正二 | 主題歌:JamFlavor「CRY ~戻りたい夜を~」
撮影:春木康輔 | 照明:本間光平 | 録音:吉方淳二 | 美術・スチール:柴崎まどか
スタイリスト:小宮山身以 | ヘアメイク:安藤メイ | 編集:小西智香 | 脚本協力:川原杏奈
劇中戯曲:愛里 | 振付:櫻井香純 | エグゼクティブ・プロデューサー:高木雅共
プロデューサー:猪野秀碧、岡田康弘、細見将志、田中佐知彦 | 企画:直井卓俊
製作・宣伝:エイベックス・エンタテインメント | 制作協力:ippo | 配給:SPOTTED PRODUCTIONS
カラー/アメリカンビスタ/5.1ch / 94分 eavex entertainment inc

makuai-movie.com

協賛:          



冴えない日々を送る売れない劇作家に、
1本の電話が妹の死を告げた。
過去と現実、様々な出会いと再会の
“揺らぎ”の中で見つけた物とは——。

実家の美容室を手伝いつつ、鳴かず飛ばずの「劇団50%」を主宰している麻奈美(松井玲奈)。劇団員の結婚祝いで集まって馬鹿騒ぎをしていたある夜、妹の尚(笈美和子)が資材置場で亡くなった。その日、尚からの着信があったにもかかわらず電話に出なかった麻奈美は、複雑な思いを抱えてしまう。母親・京子(しゅはまはるみ)との新たな確執が生まれる中、劇団仲間の早苗(日高七海)と妹の部屋を引き払いに東京へ。様々な人々との出会いと再会を経て、自分自身と向かい合っていく事になるが——。



映画単独初主演・松井玲奈 × 新鋭監督・前田聖来 笈美和子、しゅはまはるみなど、個性豊かなキャスト&スタッフが集結!

主人公の麻奈美を演じるのは、近年は小説家としても活躍し、役者としては今回が映画初単独主演となる松井玲奈。また、麻奈美の妹・尚にTVドラマほかで著しい成長を見せる笈美和子。麻奈美の母・京子に『カメラを止めるな!』でブレイクしたしゅはまはるみ。麻奈美のパディ的存在・早苗役に出演作多数の実力派・日高七海。他にも江野沢愛美、木口健太、目次立樹、大塚萌香(新人)、袴田吉彦ら一癖も二癖もある個性豊かなキャスト陣が物語を彩る。

監督は元・役者で現在は会社員としても働く新世代・前田聖来。MOOSIC LAB 2018で発表した短編『いつか輝いていた彼女は』が高い評価を得て、本作が初の商業映画となる。撮影に『本気のしるし 劇場版』『岬の兄妹』の

春木康輔、共同脚本に『アストラル・アブノーマル 鈴木木三』『ウルフなシッシー』の大野大輔、音楽に“あらかじめ決められた恋人たちへ”の池永正二、書き下ろし主題歌に実力派アーティストJamFlavorと、充実のスタッフ・クリエイター陣が集結し、どこか歪んだ今の時代に不器用にも真っ直ぐに生きる女性像を作り上げている。



Twitter @makuai_movie

